

市立中央病院新本館オープンに向けて

十和田市立中央病院が開設されてから今年でちょうど50年になります。新病院はこれを期に、新しい理念「いのちを支え、いのちをつなぐ」医療の実践」を掲げ、地域の医療・介護・福祉との密接な連携のもと、誰もが安心して暮らすことができ、人間としての尊厳が大切にされる地域づくりに貢献します。

新病院の目指すもの

● **ホスピタリティのある病院**
病院の内装に、十和田市の自然（四季）の風景と自然の色をふんだんに取り入れました。



● **病診連携を基本にした医療**
高齢化社会を見据えた国の医療政策に従い、病診連携と在宅医療を推進します。当院は入院を中心とする急性期医療を担当し、住んでいる地



＜病診連携の窓口となる地域医療連携室＞

域の「かかりつけ医」との連携で地域医療を守ります。このため、初めて外来を受診するかたは必ず紹介状をお持ちください。

● 救急医療の確保

地域住民にとって救急医療は日ごろの安心を保障する大事な医療です。しかし、安易な利用は勤務医の過重労働の原因となりますので、ルールを守ってご利用をお願いします。



＜救急室＞



＜3階の重症ベット＞

● 脳卒中診療体制の強化

当院はこれまで、上十三地域の脳卒中診療の中核的な役割を果たしてきました。今後も医療・介護・福祉の地域連携を強化するとともに、予防医療にも力を入れます。

を図っています。



＜じょく瘡回診＞

※認定看護師とは
看護の専門性を高め、特定の看護分野の教育を受け、審査・試験後に認定される資格です。

病院新本館見学会

市立中央病院の新本館見学会を開催します。申し込みは必要ありませんので、当日は、本館正面玄関に集合してください。

とき 4月27日(日)
午前9時から正午まで
午後1時から3時まで

問い合わせ先 中央病院建設課
☎051211内線8722

土曜日の完全休診の試行

医師の労働時間を緩和し医師確保を図るため、5月から土曜日の外来診療を試行的に完全休診いたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

● チーム医療体制の強化

医療を受ける人の個々のニーズに則した、質の高い、安全な医療を行うために、医師・看護師・薬剤師・リハビリ技師・栄養士・検査技師・放射線技師・事務職などによるチーム医療体制が必要で、すべての診療部門でチーム医療が行われる体制を目指しています。

● 包括的がん医療の推進

当院は地域がん連携拠点病院にはまだ指定されておりませんが、指定の要件に沿い、さらに、がん対策基本法に沿ったがん医療を実践していきます。手術や抗がん剤治療に加え、緩和ケアは日本でもっとも充実した活動を行っていますし、がん相談支援センターでは、無料で相談を受けることができます。

また、全国で10台目となる放射線治療装置「トモテラピー」を導入することにより、さらに充実したがん医療を提供します。



＜脳神経外科の最新の手術器械が設置されている、3階手術室＞



＜2階外来の化学療法センター＞

★最新の放射線治療装置「トモテラピー」とは★



この装置は、照射装置が身体の周りをらせん状に移動しながら360度すべての方向から患部を狙って放射線を照射するもので、従来の放射線治療に比べて、正常な組織への影響を最小限に抑え、病変患部への照射の精度が格段に高い治療が可能となります。このため、手術では危険や後遺症を伴う部位のがんや、放射線治療後に再発したがんなどでも治療が可能で、さらに複数の患部へ同時に照射することができるのも大きな特徴です。脳腫瘍、頭頸部がん、前立腺がん、食道がん、肺がん、転移性骨腫瘍、乳がん、婦人科がんなど、その対象となるがんは少なくありません。治療は20分、照射は5分程度です。基本的には通院治療ですが、遠方から来るかたに対しては入院治療も行います。

● 最新の診断装置の導入

増設されるCTは撮影速度が速く、全身を10秒未満で撮影できます。特に、心臓の血管をきれいに描出できますので、「患者さんにやさしい心臓の検査」が可能となり、狭

病院新本館オープンに伴う

外来診療の制限についてのQ&A

診療制限については、これまで広報2・3月号で概要を掲載してきましたが、今号では、皆さんの疑問にお答えします。

制限の内容

- ① 移転前後の救急外来
- ② 1日の外来診察患者数
- ③ 初診で紹介状のないかた
- ④ 再来で予約のないかた

Q1 なぜ診療制限を行うのですか？

A1 電子カルテが稼動し医師が慣れるまで時間がかかること、常勤医師数が減っていること、第五次改正医療法に従い病診連携を強化するためです。

Q2 紹介状は持っていますませんが、診てもらえますか？

A2 まずは「かかりつけ医」で受診してください。「かかりつけ医」からの紹介状があれば予約診療が可能です。「かかりつけ医」がない場合には、もよりの診療所などを紹介します。

Q3 予約なしで診察してもらえますか？

A3 基本的に予約診療となり、予約のかたが優先されますので、混雑している場合にはその余裕がないこともあります。また、診察にはかなりの待ち時間が発生する可能性があります。

Q4 予約方法について教えてください。

A4 予約方法は、診察終了後に医師との相談の上で予約、予約センターで予約、電話で予約の3通りです。電話での予約は午後2時から4時まで予約センターで受け付けています。

Q5 これまで定期的に治療を受けていたが、急に具合が悪くなったときは、予約なしで診察してもらえますか？

A5 当院で継続的に治療を受けているかたは、予約なしでも診察します。

Q6 診療制限はいつまでですか？

A6 1日の外来診察患者数の制限は、約3カ月間を予定しています。病診連携強化のための紹介状持参優先制、外来混雑緩和のための予約診療制は、その後も継続されます。

★救急外来の閉鎖について★

5月4日(日) 午前8時から
5月7日(水) 午後5時頃まで
救急業務(救急車の受け入れ・救急室での診療)を停止します。



＜血管造影装置＞



＜核医学検査装置＞

心症などの冠動脈疾患のスクリーニング検査を行うことができます。血管造影装置は、心臓用と頭部および腹部用の2台を更新。また、核医学検査装置(ガンマ・シンチレーショントラック)も更新されます。

● 安全で質の高い看護の提供

現在、認定看護師1名と皮膚・排泄ケア2名と救急看護1名の認定看護師教育専門課程修了者がいます。また、糖尿病療養指導士・消化器内視鏡技師・呼吸療法士・ケアマネージャー・透析技師認定士・認定心理士・家族相談士・上級ケアストレスカウンセラー・リンパ浮腫治療法士修了者など多くの資格取得者がいます。資格取得者は、チーム医療の中でそれぞれの能力を発揮し効果的な医療・看護を提供しています。また、職員間の教育・指導などを行い、各部門の知識・技術のレベルアップ